

Functional Denture Soft
fd soft

Comfortner
Light Cured Denture Soft Relining Material

スーパーソフト

直接法用アクリル系軟質リライニング材

アクリル系軟質リライニング材は、
半年から1年で定期的に交換してください。

- 口腔内で追加修正ができる
- 適合検査材が使える
 - 床からの剥離が少ない
 - 粘弾性で、咀嚼効率に優れる
 - 親水性でなじみやすい

FD soft

Functional Denture Soft

アクリル系義歯床用軟質リライニング材

FDソフト

承認番号21300BZZ00125000

《仕様》

パウダー/110g

リキッド/100mL

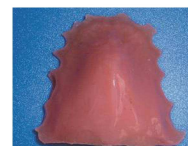
その他

ニュートップコート/30mL

承認番号21000BZZ00591000



直接法用でティッシュコン並みの柔らかさ。専用の義歯洗浄剤“クリーンソフト”で毎日必ず洗浄してください。



術前の口蓋床



3ヶ月後の口蓋床
義歯洗浄剤“クリーンソフト”で毎日洗浄した例

Comfortner

Light Cured Denture Soft Relining Material

光重合型アクリル系軟質リライニング材

コンフォートナー PAT.P

承認番号 21600BZZ00150000

《仕様》

パウダー/60g

リキッド/50mL

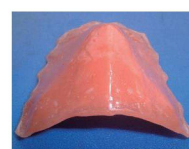
その他

コートライナー/20mL

承認番号 21600BZZ00149000



術前の口蓋床



6ヶ月後の口蓋床
義歯洗浄剤“酵素入りポリデント”で毎日洗浄した例

ラボ用の光重合器で強固なコーティング膜をつくるため、市販の“酵素入りポリデント”が毎日使用できるようになり、耐久性が大幅に向上しました。



[ご注意]

1. 本材には汎用のラボ用光重合器が必要で、充填用光重合器の使用は不可です。
2. “酵素入りポリデント”(アース製薬)以外のポリデントや、他社製の義歯洗浄剤の使用は不可です。

原因

デンチャープラークによる劣化

対策

水洗いだけではバイオフィームは除去できず、石灰化して面荒れしますので、必ず指定の義歯洗浄剤と市販の超軟毛歯ブラシで毎日洗浄してください。

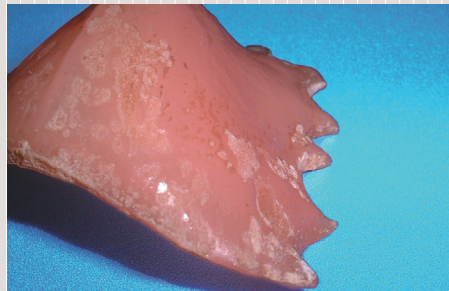
現象

ドライマウスによると思われる、装着後、短期間での面荒れ。

ドライマウスによると思われる、装着後、短期間での面荒れ。

ドライマウスによると思われる、装着後、数カ月目の面荒れ。

毎日水あらいのみ、3カ月後の実験口蓋床に認められる面荒れ。



《現象》

義歯床後縁や床辺縁部から発生した微生物の白い膜（バイオフィーム）が成長し、カリフラワー状の面荒れ現象を伴いながら、徐々に床の中心方向にむかって拡大してゆきます。

また、リライニング面が粗慥となる結果、嗜好品や、食品からの着色がしやすくなります。

《原因》

単なる水洗いだけでは、義歯に付着したペリクルやバイオフィームは洗い流せず、このデンチャープラークの堆積から表面荒れを誘発することになります。

面荒れ現象を起こしやすい部位としては咬合圧がかかりにくく、食滓も停滞しやす

い義歯床の適合のあまい箇所や、床後縁、床辺縁部、などが挙げられます。このような箇所からバイオフィームが形成され、カンジダ菌などが発育して軟質レジン内部に波及し、微小気泡内からも細菌叢が発育成長して次々と堆積し、同時に材質が軟らかいため比較的短期間でカリフラワー状に盛り上がってきます。

ドライマウス患者の場合は、唾液の抗菌作用や自浄作用が悪く、カンジダ菌が増殖しやすい環境で、細菌叢が非常に発育しやすくなっています。

ご注意 毎回適正に洗浄していても劣化の激しいドライマウス患者の場合は、本材（アクリル系軟質リライニング材）の適用外となります。

●ドライマウスとは

ドライマウスとは、唾液の質的異常（唾液のネバネバ感、粘稠感）や唾液の分泌量が少なくなることです。原因は薬の副作用と、ストレスなどの心因性でほぼ半数を占め、約1割がシェーグレン症候群患者です。

半数を占める薬の副作用としては、降圧剤、睡眠薬、尿失禁薬、抗ヒスタミン剤（花粉症対策薬）、胃薬などが挙げられています。

ドライマウス患者の場合、親水性のアクリル系が好まれています。このアクリル系の親水性が原因となって、レジン内部からも細菌叢の発育があり、結果として非常に面荒れにつながりやすくなります。

そのためドライマウス患者の場合、装着後は十分な予後管理が特に必要となります。

原因

市販の義歯洗浄剤、煮沸による劣化

対策

- “FDソフト”の場合は、軟質レジン専用の“クリーンソフト”を毎日使用。
- “コンフォートナー”の場合は“酵素入りポリデント”を毎日使用。

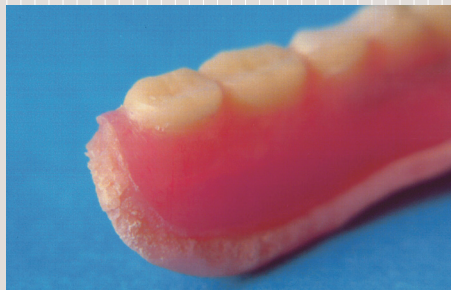
現象

装着より3ヵ月後、市販義歯洗浄剤によるスポンジ状の面荒れ。

パーシャルデントに2週間浸漬後のFDソフト。

ポリデントに2週間浸漬後のFDソフト。

製作より1週間後に10分間の煮沸。



《現象》

床のリライニング面全体が発泡し、表面は小さな気泡でスポンジ状となります。

材質が軟らかければ軟らかい程、気泡が発生しやすく、特に、床のリライニング当日は発生しやすいので、適正な義歯洗浄剤の使用が必要です。(写真左上)

また、臭い消しや消毒のため、軟質リライニング義歯を煮沸すると、内部の微小気泡が膨張して表面が荒れますので、絶対に煮沸はしないようにご指導ください。

(写真右下)

《原因》

一般の市販義歯洗浄剤に含まれる漂白剤や発泡剤からのガス発生(酸素や炭酸ガス)が原因と考えられています。

アクリル系軟質リライニング材の粉液練和は空気中で行なわれるため、どうしてもリライニング材内部に微小気泡が多量に混入いたします。

そして義歯洗浄液が徐々にリライニング材内部にも侵入し、この微小気泡内でガスが発生することにより、気泡が大きく膨張、成長することになります。

また、材質が軟らかければ軟らかい程、気泡は容易に材質内を移動できるので、周囲の微小気泡と融合し、表面に浮き上がってきます。特に、ヤニ取り効果のあるものや部分入れ歯用など、漂白効果の高いものには気泡の発生が顕著に認められ、一晩で軟

質リライニング面全体に気泡が発生することがあります。

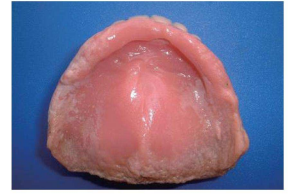
そのため“FDソフト”の場合には、漂白剤や多量の発泡剤を含まない軟質レジン専用の義歯洗浄剤“クリーンソフト”(亀水化学)を、必ずご使用ください。

なお、“コンフォートナー”の場合には、面荒れ予防、耐久性向上のため“酵素入りポリデント”(アース製薬)で毎日洗浄してください。

面荒れ現象のまとめ

レジン^①の材質が軟らかい=化学結合が疎で、自由に水分や微生物がレジン内部に侵入しやすく、デンチャー^②プラークも硬質のレジンに比べて、多量に付着しやすくなります。ちょうどコンタクトレンズでも、ハードよりもソフトの方が汚れやすいのと同じ理由で、材質が軟らかければ軟らかい程、一層この傾向が顕著になります。

また、歯垢^③がうがいだけでは除去できないように、単なる水洗いではデンチャープラークは洗い流すことができません。その結果、デンチャープラークはバイオフィルム^④を形成しながら堆積し、周辺から徐々に中心方向に向かって成長しながら硬化し、面荒れを発生させます。



面荒れ予防対策

リライニング^⑤初期の段階から、軟質レジン専用の義歯洗剤と超軟毛歯ブラシによる機械的清掃を併用して、デンチャープラーク自体を発生させないように患者を指導することが必要です。

- 1** “FDソフト”の場合は、軟質レジン専用の義歯洗剤“**クリーンソフト**”（亀水化学）で、リライニング当日から毎日、一晩中浸漬洗浄保管して常に義歯を清潔に保つようにします。
“コンフォートナー”の場合は、“**酵素入りポリデント**”（アース製薬）で毎日洗浄してください。
- 2** 義歯洗浄の前後には、市販の**超軟毛歯ブラシ**（例.システムなど）で、床辺縁部のペリクルや、デンチャープラークを流水下で機械的に除去するようにします。
- 3** リコールのつど、表面滑沢材“**ニュートップコート**”を何度も重ね塗りして、軟質リライニング表面を保護します。

ご注意

- アクリル系軟質リライニング材の場合、上記の面荒れ予防対策を実行しても、最終的には面の劣化や硬化が避けられません。また、一旦発生した石灰化面は、通常の義歯洗剤では除去ができないので、**基本的には半年から1年前後で定期的に交換する必要があり、その旨を治療開始の段階から患者に予めよく説明了解を得ておくことが必要です。**
- コンフォートナーの場合は、使用できる市販義歯洗剤は“酵素入りポリデント”のみで、他の“部分入れ歯用ポリデント”や“ニオイを防ぐポリデント”及び他社製の義歯洗剤は軟質リライニング面を劣化させますので、義歯洗剤の選択をあやまらないように特にご指導ください。